

学位論文及び審査結果の要旨

横浜国立大学

氏名	Irene Sondang Fitritinitia
学位の種類	博士（工学）
学位記番号	都市博甲第2235号
学位授与年月日	2022年9月16日
学位授与の根拠	学位規則（昭和28年4月1日文部省令第9号）第4条第1項及び横浜国立大学学位規則第5条第1項
学府・専攻名	都市イノベーション学府 都市イノベーション専攻
学位論文題目	A study on the integration of social protection and disaster management in Indonesia
論文審査委員	主査 横浜国立大学 教授 松行 美帆子 横浜国立大学 教授 田中 伸治 横浜国立大学 准教授 藤山 知加子 横浜国立大学 准教授 佐藤 峰 横浜国立大学 准教授 安部 遼祐

論文及び審査結果の要旨

本論文は、社会的保護（Social Protection: SP）は本来低所得者の社会福祉の向上のために実施されているが、結果として受給者の災害への対応能力を強化している、という仮説をもとに、インドネシアの社会保護プログラム Program Keluarga Harapan (PKH) を対象として実証的に研究を行ったものである。

本論文は全6章で構成されている。第1章では研究の背景と目的、研究の枠組み、研究の構成を示している。第2章では関連する先行研究について文献レビューを行い、本研究の位置づけを明確にしている。第3章では社会的保護と防災の融合に関する既往研究のレビューを行い、そのディスコース分析を行っている。第4章では、農民とバティック工場労働者に対して実施したアンケート調査をもとに、PKHの受給状況、4つのキャピタル（social, human, financial, physical capital）と洪水時の対応の関連について、共分散構造分析によるモデル化を実施し、その関連性を明らかにしている。第5章では、インドネシアにおける社会的保護と防災に関する政策及び政府組織をレビューし、さらに政府関係者など関係性へのヒアリングを行い、インドネシアにおける社会的保護と防災の政策面での融合における課題を指摘している。最後に第6章において、以上の分析結果を取りまとめ、インドネシアにおける社会的保護と防災の融合の方向性についての提言を示している。

本論文は、世界的に議論がされている社会的保護と防災の関係について実証的に論じた点、社会的保護と災害への対応力の関係のメカニズムをモデルとして示した点、インドネシアの社会的保護と防災の融合に向けて具体的な提言を行っている点において、社会的意義は大きく、学術的な価値が認められる。

提出された論文に対して、iThenticate を用いて剽窃・盗用の不正行為の有無を確認したところ、本人が学会等へ投稿した学術論文、一般的な用語や手法の表現、参考文献名などの一致が見られたものの、剽窃や盗用に該当するものはないことを確認した。研究成果は既に、英語による1編の査読付き論文が公表されている。

よって、本論文は、博士（工学）の学位論文として十分に価値があると認められるので、合格（A）の判定とする。

(試験の結果の要旨)

令和4年8月4日10時30分より、オンラインにて、審査委員全員の出席のもとで、公聴会、続いて学位論文審査会を実施した。論文内容の発表と発表論文に対する質疑応答を通して、本論文は博士論文として十分な内容を有しており、都市イノベーション分野において博士の学位を得るに値すると認められるとともに、提出者は専門領域である都市計画に関連する分野の科目について博士（工学）の学位を得るのにふさわしい学力を有すると判断された。また、修了に必要な単位も取得済みである。

外国語については、本論文および刊行論文、口頭発表および質疑応答の言語が全て英語であり、十分な英語力を有していると判断した。

対外発表論文は、以下の1編の査読付き論文集への発表のほか、2編が現在国際ジャーナルにおいて審査中であり、2編の学会での英語発表があり、学位取得に必要な内規（1編以上）を満たしている。

- 1) Irene S FITRINITIA, Mihoko MATSUYUKI, Fumihiko NAKAMURA, Shinji TANAKA and Ryo ARIYOSHI
‘An Integration of Social Protection, Disaster Risk Reduction, and Climate Change Adaptation in Disaster Policy, Plan and Program: A Review on Global Discourse and Case Study of Indonesia’ 『土木学会論文集 D3 政策と実践』 2022年 78巻 6号 p. II_302-II_314.

以上より、当該学生は都市イノベーションの分野において博士の学位を得るに値する学識を有するものと認められ、審査委員の全員の一致により最終試験は合格と判定した。

注 論文及び審査結果の要旨欄に不足が生じる場合には、同欄の様式に準じ裏面又は別紙によること。